

事例 19 早寝・早起き・朝ごはん実行委員会 in みやぎ (略称: いい朝みやぎ)

取組内容

◆実施主体

早寝・早起き・朝ごはん実行委員会 in みやぎ (略称: いい朝みやぎ)
(事務局: ベガルタ仙台 (Jリーグクラブチーム))

◆発足

平成18年10月仙台圏域において、民間主導の「早寝・早起き・朝ごはん実行委員会 in みやぎ」(略称: いい朝みやぎ)が発足。

これは、民官学が連携し、「早寝早起き朝ごはん」運動に賛同する住民、関係団体、民間企業等が、草の根的に市街地や学校等において朝の活動を展開し、地域での民間主導の活動のモデルとして、全国に発信することを目的に結成。



◆活動内容

- 朝のプレイパークでの活動
- クリーンベガルタと連携した清掃活動
- 学校訪問による生活習慣づくりの普及啓発
- 普及啓発活動

◆朝から遊ぼうの会

オリジナルおにぎりを持参して朝ごはんをとり、落ち葉を集めたり林の中で遊んだり、プレイリーダーや大人の人とともに朝を活用したプレイパークでの活動を実施しました。



◆クリーンベガルタ

ユアテックスタジアム仙台周辺で、ベガルタ仙台と連携してクラブチームのスタッフや選手、ユース（高校生）、ジュニアユース（中学生）、サッカースクール（小学生）及び一般の方々が参加する朝の清掃活動を行いました。



○ユアテックスタジアム仙台での運動の広報活動

ベガルタ仙台の協力でスタジアムのオーロラビジョンでの普及啓発を実施。



◆学校訪問による生活習慣づくりの普及啓発

県内幼稚園・小・中学校を訪問し、「早寝早起朝ごはん」の普及を行いました。

幼稚園では、ベガルタ仙台のマスコットキャラクター「ベガッ太君」と早寝早起朝ごはん体操を行ないました。

小学校では、ベガルタ仙台のコーチがスポーツが出来る体作りには、早寝早起朝ごはんが大事と話しました。

中学校では、いい朝みやぎの事務局が文部科学省の資料を基に生活習慣の大切さを話し、その後ベガルタ仙台のトレーナーにより全校生徒に体を伸ばす体操やスポーツシューズの選び方などを話しました。また、普及イベントにおいて中学生の職場訪問を行ないました。



◆普及啓発活動

ユアテックスタジアム仙台で行われたJリーグサッカー試合において、観戦に来た子どもとその保護者を対象に「子どもの生活習慣づくりのための全国的な普及啓発事業」の一環である「早寝早起き朝ごはん」キャラバン隊と連携した活動を実施しました。

ボランティアスタッフと共に来場者にチラシを配布し、また子ども連れの家族には早寝早起き朝ごはんに取り組む意志を表す「早寝早起き朝ごはんチャレンジ隊」隊員カードの配布を行いました。ブース前では、パネル展示を案内するなどして普及啓発に努めました。

試合前のピッチでは、ガチャピンとムックが子ども達を交えて体操を披露しました。集まった子どもと一緒にメインスタンド前のピッチ上で10分程度の体操を中心に普及啓発活動を展開しました。

また、当団体顧問である村井宮城県知事からも観衆に向けて「早寝早起き朝ごはん」の大切さをPRしました。

効果・結果

キャラバン隊ブースにガチャピンとムックを登場させることで、身近なキャラクターを通じて、子どもだけでなく、その保護者に対しても「早寝早起き朝ごはん」の重要性を直接理解してもらう機会を作ることができました。



◆詳しく知りたい方は→株式会社ベガルタ仙台

TEL : 022-216-1011 FAX : 022-216-1011

HP : <http://www.vegalta.co.jp/index.html>